

(使用上の注意)

- ・本製品の取り付け方向は、必ず垂直にしてください。(下図通り)
 ⇒垂直にしないと、正常に作動しない原因となります。
- ・弁座用OリングはOリング溝内に正しく設置されてることを確認ください。
 ⇒移送中に弁座用OリングがOリング溝からずれてる場合があります。
 ⇒Oリングがずれてますと、漏れの原因となります。
- ・弁座の設置方向は必ず機械加工面をOリング側(下側)にしてください。
 ⇒機械加工面をOリング側にしないと、漏れの原因となります。

(安全上の警告)

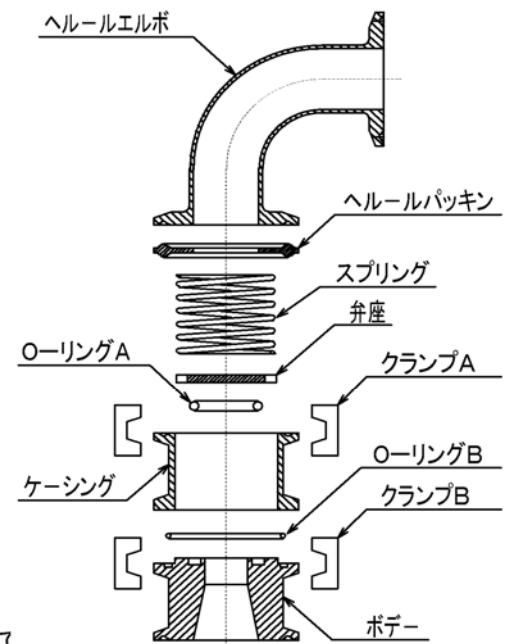
- ・吹出し部に顔や素手等を近づけないでください。
 ⇒突然の吹出しにより、ヤケド及び失明する恐れがあります。
- ・長期間放置しておいた場合、弁座とOリングが付着したり、弁座部にゴミ及びホコリが蓄積する場合がありますので、使用前には必ず分解洗浄して弁座がスムーズに作動することを確認の上使用してください。
- ・分解する時は、ヘルールエルボを押さえながらクランプAを取り外してください。
 ⇒ヘルールエルボを押さえないで分解しますと、内蔵スプリングによりヘルールエルボが飛び跳ねて事故になる恐れがあります。(但し、RVタイプはこの恐れはありません)

(安全上の注意)

- ・使用圧力範囲は下記の通りです。
 - ・RVタイプ: 真空～大気圧
 - ・RVPタイプ: 真空～約0.05MPa
- ・使用温度はパッキン材質の許容範囲内で、使用してください。
- ・使用流体は基本的には気体及び蒸気です。
 ⇒液体に使用する場合は、吹出し時の圧力損失及び吹出し量を確認の上使用してください。

(分解組付)

- ・弁座の設置方向は機械加工面をOリング側にしてください。
- ・弁座のOリングとの当り面には、キズ等のないことを確認して使用してください。
- ・弁座とOリングの間には、ゴミ及びホコリ等のないことを確認して使用してください。
- ・ヘルールエルボを装着する時は、スプリングのセンターの真上にヘルールパッキンと共に置いて、垂直に押さえながらクランプを締め



(吹始め圧力／吹出し圧力／吹出し量)

- ・吹始め圧力(少しずつゆっくりと加圧した場合の初期の吹出し圧力)
 但し、吹始め圧力は下記の要素により多少の変動があります。
 ⇒加圧量、スプリングの装着状態、ゴミ、ホコリ、キズ等
- ・吹出し圧力(定量に連続加圧をした場合の吹出し圧力)
 但し、吹出し圧力は吹出し量により変動します。

MODEL		吹始め圧力	吹出し圧力	吹出し量
		MPa	MPa	L/Hr
RV	10A	約0.001	約0.005	約1600
	1S	約0.001	約0.005	約1600
RVP	10A	0.04±10%	約0.05	約1800
	1S	0.04±10%	約0.05	約2800